



白銀

新日本スポーツ連盟神奈川県スキー協議会
横浜市神奈川区神奈川2-14-16トーリックビル3F
Tel045-534-5557 Fax045-534-5554

発行責任者: 杉田 厚

編集: 北村 理・古屋 仁・吉越 貴幸・齊藤 和敏

Email: mail@kanagawaski.org

URL: <https://kanagawaski.org>

200名の会員、100名のメイト読者を目指そう！



オープニングフェスでシーズンイン 教程研修、教室で今シーズンへのワクワクが広がった (12月14日～15日)

技術部 杉田 厚

今年のオープニングフェスティバルは志賀高原一ノ瀬ゲレンデにて、5クラブ25人（千葉県スキー協から講師・参加各1名あり）で実施しました。

例年より少なかった要因は、宿泊がダブルブッキングして急遽1週間前倒しの開催となり、予定していた方が日程が合わなくなったことや昨年のゲレンデの半分しか滑れない少雪のイメージが強すぎて敬遠されたことなどがありました。

けれど、今年はゲレンデ上部こそまだでしたが、下部は雪がついておまけに降雪もあったことから深雪も味わうことができるなど大満足のスキー行となりました。



コースは研修8人を講師2人で、教室9人を講師2人で、ボード2人を講師1人での少人数コースを組むことができました。

教室及び研修は、今年のテーマ「真下への横滑り左右連続から谷回りターン技術への展開」にある外旋・内旋、外足荷重、アンギュレーションなどの要素を学びました。

最終日の講評の場では、各講師から長足の進歩との高評価を得るほどに参加者の滑りの質が変わって行きました。

講習中にスマホを使って自分の滑りを見るということも良かったようでした。

スノーボードは、2人の受講生という少人数の贅沢な教室となりました。



またフェスティバル後に応用研修を7人の参加で行いました。

指導員対象だったので「こんな時にはどんな練習が効果的か」などのテーマでスキー操作を学びました。

最後に「スキーの滑り方は様々。整地された斜面だけでなく深雪、アイスバーン、コブ斜面など様々な斜面を滑り降りるのが上手なスキーヤー。ぜひそうした質の高いスキー技術を習得してほしい」との講師の言葉が印象的でした。

今シーズンもクラブや県行事で思いっきり滑って楽しいスキーを満喫しましょう

~~~~~

極上のパウダースノーに10ファミリー&姉妹が集った3日間  
第58回神奈川スキー祭典正月コース

正月コース学校長 杉田 厚

年末 31 日から正月 2 日までの 3 日間、総勢 40 人が集まって神奈川スキー祭典正月コースをオグナ  
はたかスキー場で開催しました。

去年は雪不足で3日間ともお隣の川場スキー場に行ったのですが、今年はメインのスキー場のオグナほたかスキー場で実施することができました。

クリスマス寒波、年末寒波と連続する寒波の影響でスキー場は豊富な積雪量と極上の粉雪で、「雪質最高!!」「滑るのが気持ち良さ過ぎて…」の幸せな気分浸れた3日間でした。

天気も味方してくれて、初日は若干吹雪いたりしましたが2日目と3日目には青空も見え最高のスキー行でした。

また、今年は初めて初日朝横浜を出発して2泊3日の行程、そして宿が2つに分宿ということでしたが、これも大きなトラブルなくスムーズに運営できました。

参加者のみなさんのご協力に感謝です。

《 1 目 目 》

お昼に宿について着替えとレンタルを済ませてスキー場に出発。

会場で子どものウェアレンタルとリフト券発券を済ませて開校式へ。

ちなみにリフト券は大人3日券が用意されておりずいぶん助かりました。





子どもはネット上でお知らせしている 1,500 円のシーズンパスを購入していただいたので、これもういぶんお得でした。

開会あいさつ、クラス分け(8クラス)、準備運動を済ませて早速スキー・スノーボード教室へ。

初滑りの方が多かったので「初日は感覚を思い出す時間」「プルークの基本、難しかったけど改めてまたやり直せて良かったです」など久々の感覚に“気分は上々”のようでした。

初日の夜はビデオに撮った滑りを見て「明日も頑張って習得したいです」と翌日への決意に満ちていたようです。

## 《2日目》

終日教室でした。

今日はお正月ということで混雑を予測していましたが、案外そうでもなくリフト待ちもほとんどなくスムーズに滑れました。

中・上級クラスはリフトを3本乗り継いで山頂まで上がり、ふかふかのパウダーを楽しんでいました。

ほんとうにオグナほかの雪は極上のパウダーです。

教室を終えて宿まで戻ったところで雪上運動会(スノーフラッグ)を楽しみました。

雪上運動会は、①小学4年生までの部┃②小・中学生の部┃③女性の部┃④男性50歳代までの部┃⑤男性それ以上の部┃の5部門でスノーフラッグの取りあい

各部で1位から3位を決定、さらに、各部の優勝者でMVPを決める決勝戦と大いに盛り上がりしました。

賞品も好評でした。

そして2日目の夜は交流会。いつもと同じ「じゃんけん列車」でしたが、なぜか異様に盛り上がる交流会でした。

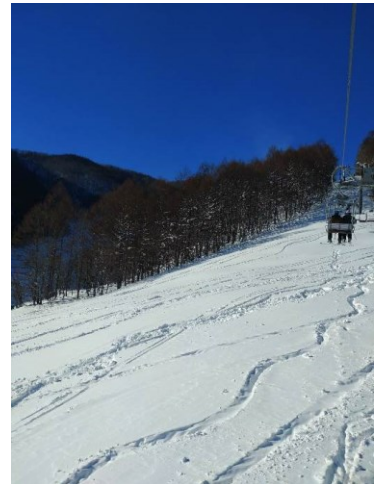
## 《最終目》

この日は午前中のフリースキー。

家族連れが多かった正月コースだったので家族でまともって滑る姿が微笑ましいなあ。

お昼過ぎに宿に戻り閉校式を行い、13時30分過ぎに宿を出発、19時前に無事横浜駅東口到着。

3日間のスキー祭典正月コースを終了しました。



### 【参加者の感想…「白銀」より抜粋】

○今日は久しぶりのスキーで本当に楽しかったし、少しパラレルに近づいてきたのでうれしかったです。

友達と宿までスキーで行けるのがすごくびっくりしました。

明日は楽しくうまく滑りたいです。

○カービングターンを極めたくて参加。





## 《 2 日目 》

スキーの初心者クラスと大人のクラスで若干の移動がありましたが、ほぼそのまま教室を再開、前日以上に出だしのリフトは「ゲロ込み」状態。

しかし、ゲレンデに出れば雪はサラサラで何倍もうまくなったような気分で滑れます。

正月に動いてなかった第4リフトも稼働、山頂まで行ったクラスもあったようです。

午後の教室終了後は、ホテルの横で雪上運動会のスノーフラッグ大会。

年代別に行われましたが、やはり20代は俊敏さがすごいですね、圧倒されました。

夕食後、食堂でビデオ上映と交流会。

各班の指導員が撮影した映像を見ながら、自分の滑る姿を普段あまり見ることが無いので2日間ですごく上達した自身の滑りを確認していました。(\*^。^\*)



## 《 3 日目 》

最後の日はフリー滑走の日。

家族同士で、友達同士で、教室で一緒だった人とグループで滑走してもらいました。

ゲレンデは前日と打って変わってがらがら状態、リフトも1/3の時間で乗車できました。

時折雪も降っており、最高のフリースキーになったようです。

午後宿泊先で閉校式を行い、3月の春祭典での再会を誓い合いました。

帰りも渋滞を心配しましたが、バスは無事7時過ぎに横浜駅に到着しました。

### 参加者の声「白銀より抜粋」

○本日の吉越さんのレッスンはとても分かり易かった。

①股関節の内旋、外旋

②つま先上げ（前脛骨筋）

ワンポイントがとてもよかった。

○1日目、久々に基礎練習。大事。

2日目、応用練習。楽しい。

“手の位置” “ターンの最初が肝心” パウダースノー最高でした。

○やっとリフトに乗りました。

まだ初心者で頂上までいけませんが、上の景色は広々としていて、とても楽しかったです！

特に何度も私を起こしてくれたり、止めてくれたりした工藤さんに感謝しています。

初日5回、今日は7、8回??←転んだ数! (^ ^ )!

○こんなに練習したのは人生初でした。

自分なりに上達したかな! ? という感じもしています。



ありがとうございました。

実行委員と参加者の皆さんで作上げたスキー祭典、けが人なく終わったことに感謝申し上げます。

ありがとうございました。

~~~~~

DSSC 足慣らしスキー始末記

D S S C 齊藤 和敏

11月20日足慣らしとして日本一早くオープンする「イエティ」を計画しました。

しかし、皆さんご存じの通り、暖かい日が続きバーンが思わしくないとの情報がB氏よりあり「1週間延ばしたい」との連絡。

そして1週間後、前日は大雨でした。

しかし、当日は晴れの予報なので、決行を決意しました。

当日は予報どおり快晴の天気、足柄サービスエリアで朝食を取りつつ、イエティに確認の電話をすると「営業しますが、開場の時間は未定」ということでした。

いつ門が開くかわからず、しかもこれから気温はどんどん上がる様子なので、相談の末、撤退を決定。(＞_＜)

御殿場で高速を降り、国道 246 号でそそくさと帰りました。

ツーリング日和の‘1日’となりました。(* ˘ ˘ *) !!!

~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~ . ~

第 35 回全国スポーツ祭典
第 51 回全国スキー・スノーボード競技大会

期日：2025年2月21日(金)～23日(日)

21日(金): 前日練習 (午前: GS、午後: SL)

22目(土):GS 2本

23目(目): SL 2本

会場：長野県 湯の丸スキー場

種目：大回転2本 ※競技種目は変更の可能性もあります

競技部門（予定）：

☆障がい者の部 女子・男子

☆スノーボードの部 女子・男子

☆競技初体験 女子・男子

☆ジュニアの部 未就学児男女混合（伴走必）／小学生低学年男女混合／小学生高学年（４～６年生）女子・男子／中学生 女子・男子

☆女子の部 1部(40歳未満) / 2部(40歳-50歳未満) / 3部(50歳-60歳未満) /

詳細や申込先については、全国勤労者スキー協議会 (<https://www.mmjp.or.jp/wsa/j/>) にて

~~~~~

<https://www.kanagawaski.org/springfestival>

~~~~~

ク ラ ブ	行事名称	日 程	会場(スキー場)
スノードルフィン	戸狩温泉スキー	1 月 10 日夜～13 日	戸狩温泉スキー場
県スキー協	第 58 回スキー祭典年始コース	1 月 11 日～13 日	オグナほたかスキー場
悠遊ＳＣ	スキーまつり（杵池）	1 月 19 日～21 日	つがいけマウンテンリゾート
ＤＳＳＣ	タングラムスキー	1 月 24 日～25 日	タングラムスキーサーカス
スノーブリーズ	クラブスキー	1 月 25 日～26 日	エイブル白馬五竜
モルゲンロート	モルゲン合宿	1 月 25 日～26 日	会津高原たかつえスキー場
ＳＧＲＴ	ＳＧＲＴ大遊び	1 月 25 日～26 日	未定
エルベＳＣ	エルベフェスティバル	1 月又は 2 月	丸沼高原スキー場

悠遊ＳＣ	スキーまつり（尾瀬岩鞍）	２月２日～４日	ホワイトワールド尾瀬岩鞍
県スキー協	奥信濃アルペン 2025	２月８日～９日	戸狩温泉スキー場
スノードルフィン	池の平スキー	２月１４日夜～１６日	池の平温泉アルペンブリックススキー場
ＤＳＳＣ	スキーフェスティバル	２月１５日～１６日	丸沼高原スキー場
モルゲンロート	モルゲンスキー	２月１５日～１６日	戸狩温泉スキー場
スノーブリーズ	クラブスキー	２月１５日～１６日	戸狩温泉スキー場
関東ブロック	指導員検定会	２月１５日～１６日	かたしな高原スキー場
悠遊ＳＣ	平日交流スキー	２月１８日～２０日	舞子スノーリゾート
全国スキー協	第５１回全国競技大会	２月２１日～２３日	湯の丸スキー場
県スキー協	初級指導員検定会	３月１日～２日	戸狩温泉スキー場
悠遊ＳＣ	スキーまつり（３０周年記念）	３月２日～４日	星野リゾートネコママウンテン
スノードルフィン	妙高池の平スキー	３月７日夜～９日	池の平温泉アルペンブリックススキー場
ＤＳＳＣ	クラブ平日スキー	３月９日～１１日	軽井沢プリンススキー場
モルゲンロート	モルゲンスキー	３月１５日～１６日	妙高高原スキー場
スノーブリーズ	クラブスキー	３月１５日～１７日	蔵王温泉スキー場
全国スキー協	第２４回デモ選	３月１５日～１６日	志賀高原スキー場
県スキー協	第５０回春スキー祭典	３月２８日～３０日	志賀高原 一ノ瀬スキー場他
県スキー協	第１７回神奈川スキー協ＣＵＰ	４月５日～６日	鹿沢スノーエリア
モルゲンロート	モルゲン春スキー	４月１２日～１３日	かぐらスキー場
全国スキー協	全国技術部会	４月１２日～１３日	志賀高原スキー場
スノーブリーズ	クラブスキー	４月１９日～２０日	かぐらスキー場
スノーブリーズ	ぽかぽかキャンプ	５月３日～５日	野沢温泉スキー場
ＤＳＳＣ	クラブ春スキー	５月連休（未定）	横手山スキー場

※各スキー行事に変更が生じた場合は、変更箇所をスキー協(mail@kanagawaski.org)へメールにて報告をお願いします。

◆編集後記◆

上越・高田では今年十二月に入ると早くも初雪で十八日からの降雪は根雪になった。いつもより早い冬の到来だ。朝町内で顔を合わせると「寒いですね」があいさつだ。

雪が降れば道路の除雪を早朝出勤前に行く、屋根の雪下ろしもやってくる、雪国の生活は本当に大変だし、雪が少ないことに越したことはないと言雪国の人はみんな思っている。

でも雪が少ないと昨年のように田んぼに水が行き届かない、お米の実入りも悪くなる、それも心配の種になる。

町内の人々は「今年はスキーに行ったかい？」と昔若いころを思い出すのか懐かしそうに訪ねてくる。「はあ２回ほど」と返すと「いいねえ」と。この辺の人は若い頃必ずスキーを授業や遊びとしてやっているから、もう一度やってみない」との思いが言葉に滲むのだろう。そうスキーは生涯スポーツ。

体が動く限り楽しめるスポーツだ。今年も体力をつけてスキーを、冬を楽しもう。!!

(す)